

PI外環協議会（仮称）について

扇国土交通大臣が遺憾の意を表明

参議院国土交通委員会（平成13年 5月24日）

- ・ 30年以上にわたり計画が放置され、地元の皆様にご不便をおかけしたことは大変遺憾である。
- ・ 原点に立ち戻って話し合いの場を設置したい。

行政側からPI外環協議会（仮称）準備会の提案

第4回地元団体との話し合い（平成13年 8月 6日）

- ・ 原点に立ちかえり、より多くの皆さんの意見を賜るため、PI方式の外環協議会をつくっていききたい。それに先立ち、準備会を提案させていただきたい。

【参 考】地元団体との話し合い（住民側の主な主張）

【第1回】平成12年4月28日

- ・ 外環反対連盟はいかなるルート、構造であってもこの地域に環状道路はいらぬ。
- ・ 都市計画決定の仕方に怒りを感じている。謝罪すべき。
- ・ 凍結中であることを確認したい。それ以下でも、それ以上でもない。
- ・ 東名以南の計画を示さない限り環状道路にならない。

【第2回】平成12年7月28日

- ・ 白紙にしてから話し合うべき。
- ・ 第1回の住民側意見に対する国・都の回答の姿勢については一定の理解。但し、以下の課題は残っている。
反省、過去の責任の明確化。
白紙撤回、ゼロからの出発。
凍結解除の言葉は軽々しく使ってほしくない。

【第3回】平成12年11月30日

- ・ 大臣と知事に謝罪してほしい。
- ・ PIによるゼロからの議論に期待している。
- ・ 現在は凍結中であり、ルート・構造も決まっていないことをはっきりしておいてほしい。

【第4回】平成13年8月6日

- ・ 過去に一方的にやったことを深く認識してほしい。
- ・ 計画ありきのPIはだめだ。ゼロも含めてPIを行うべき
- ・ 住民の主張を理解するというなら、態度で示してほしい。
- ・ 住民と行政は対等であるべき。

PI外環協議会（仮称）準備会の経緯

1. メンバー

地元団体代表

濱本 勇三

渡辺 俊明

吉岡 進

新 守一

須山 直哉

栗林 勝彦

松川 昭一郎

行 政

国土交通省 関東地方整備局 道路部

大寺道路企画官

〃 川崎国道工事事務所

伊勢田所長

東京都都市計画局 外かく環状道路担当

成田部長

〃

石橋課長

2. 開催概要

【第1回準備会】

日 時：平成13年9月28日（金） 午後7時00分～8時30分

会 場：東京都庁第一本庁舎42階北側 特別会議室D

概 要： 上記メンバーにより、準備会を継続して実施していく。
具体的な協議会の運営方法等については、次回行政側から考え方を示し、それを議論していく。
相互の姿勢として、真剣に、十分議論を尽くしていく。

【第2回準備会】

日 時：平成13年10月29日（月）午後7時00分～9時00分

会 場：武蔵野市 芸能劇場小ホール

概 要： 協議会と準備会は信頼関係が基本
結果として住民からの信頼が損なわれていることは重大かつ深刻な
こと
今後、この様なことがないよう努力していく。

【第3回準備会】

日 時：平成13年12月20日（木）午後6時30分～8時30分

会 場：武蔵野市商工会館

概 要： 信頼関係が大事。お互い肝に銘じて次に進むこととする。
協議会には、必要に応じ下部組織を設置する等、住民の意見を反映できるやり方が望ましい。
協議会での検討内容、運営方法等については、次回具体的な案を持ち寄って検討する。

【第4回準備会】

日 時：平成14年1月17日（木） 午後7時00分～9時00分

会 場：武蔵野商工会館

概 要： 協議会での必要性の議論項目については、住民側としての意見もあるので次回までに準備することとなった。
協議会の発足にあたっては、今まで住民側が主張してきた原点に立ち戻っての議論についてけじめが必要という申し入れが住民側からあった。
協議会以外でも住民の総意をどのように汲み上げていくのが重要であり、このための仕組み等について議論しても良いのではないかという意見が住民側から出された。
第三者委員会での役割がはっきりしないという意見が住民側から出された。
協議会メンバーの主体は沿線住民と行政が望ましい。